

*Sonus faber*®

IL CREMONESE

*Str. 100 Stradivari*





伝統と革新の美しい調和。  
それは、アントニオ・ストラディヴァリと  
ソナス・ファベルが共有する創造の哲学。





# IL CREMONESE

*An.º Stradivari*

## バイオリンの歴史的名品に捧ぐ、 ソナス・ファベールの新たなオマージュ。

1715年、稀代のマエストロ、アントニオ・ストラディヴァリは、生涯屈指の名作と言われる一挺のバイオリンを完成します。それは同年に制作された10数挺のうちの一つで、赤モミヤメイプルといった素材の質の高さはもちろん、金色がかかった色合いの美しさ、堂々たる音量や高域と低域のバランスには、他の作品を圧倒するものがありました。

この名品は、長くロンドンのヒル・コレクションに収められていましたが、1889年からは、ドイツの名バイオリニスト、ヨゼフ・ヨアヒムが所有したことから“ヨアヒム”の名で知られるようになります。さらに1961年、クレモナ市によって修復され、バイオリン博物館に収蔵された際、この名品はこう呼ばれるようになりました。“イル・クレモネーゼ”。

そして、その誕生から300年目にあたる2015年。いにしへのクレモナの楽器職人の技をたどり、そこにスピーカーづくりのインスピレーションを求めてきたソナス・ファベールは、バイオリン史上の金字塔とも言えるこの偉業へのオマージュとして新たなスピーカーを完成、“イル・クレモネーゼ”の名を冠しました。

ストラディヴァリの功績は、それまでの楽器づくりの伝統に則りながら、歴史を革新する斬新なアイデアを果敢に取り入れ、一つの作品として美しく調和させたこと。ソナス・ファベールもまた、スピーカーづくりの伝統と革新を融合させることで、スピーカーの新しい歴史を切り拓いてきました。

3.5ウェイ・6スピーカーの新たなフロアスタンディング・システム、イル・クレモネーゼの開発にあたって、チーフ・デザイナーのバオロ・テツォンは、新生ソナス・ファベールの技術の粋とも言える“ザ・ソナス・ファベール”、その流れを汲む“アイーダ”や“リリウム”の開発過程で得られた知見をふまえつつ、その後の研鑽の成果を惜しみなく注ぎ込み、より精度高く、透明感にあふれ、何より音楽表現力に優れたスピーカー・システムを実現するという高い理念を掲げました。

その新たなフォルム、新たなテクノロジー、新たなディテールに接し、眼前に立ち上がる音の生命感に触れる時、イル・クレモネーゼが達し得た次元の高さを実感していただけることでしょう。





## シャープかつ優雅に洗練された 革新的キャビネット設計

イル・クレモネーゼは、前面パツフルにツイーターとミッドレンジ、ウーファー2基、サイド・パネル後方にスーパー・ウーファー2基を配した6スピーカー・システム。そのシャープでエレガントな造形には、ソナス・ファベールのスピーカー技術の新たな進化が秘められています。

ソナス・ファベールではこれまで、断面がリュート型を成す“リュート・シェイプ”、竪琴型を成す“ライラ・シェイプ”など、音響学上の理想とスピーカーとしての美しさを両立する独自のフォルムを創造してきましたが、イル・クレモネーゼにおいて導入したのは、さらに新しくユニークなアプローチ。“菱形ダイヤモンド・デザイン”と呼ばれるそのフォルムは、キャビネットを5枚の木材パネルで構成、最適な位置に設けられた内部棧とともに構造的な強度を向上して内部共振やスプリング共振等を排除、平行面をなくすことで内部定在波の発生を抑制する斬新なコンセプトです。チーフ・デザイナー、パオロ・テツォンは、リリウムの形状にヒントを得ながら、限られたキャビネット・サイズにおいて最大限の強度と美しさを両立する方法論を追求、内部反射の減衰を図る共振帯域拡散システムと、厚みを変えた3層木材を駆使したこの革新的フォルムにたどり着きました。スーパー・ウーファー2基を設けて低域の力感を向上する新たな設計から導き出された必然のスピーカー造形であると同時に、木という素材を活かしながら巧みに制御するソナス・ファベールならではの伝統技法における新たな展開とすることができます。

## 音楽をありのままに描き出すために 進化した制振アプローチ

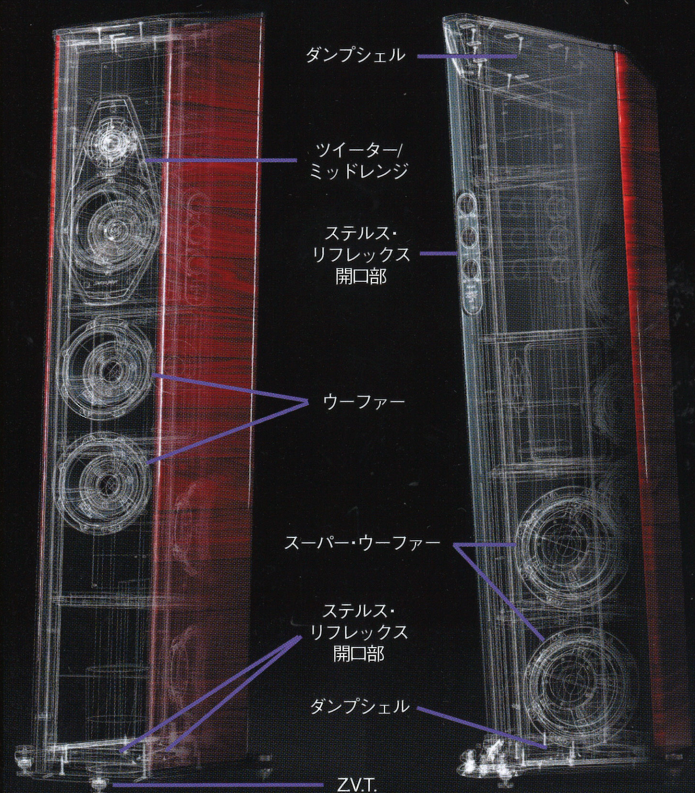
精度高い音楽再生を実現する上で最大の阻害要因となる様々な振動を徹底排除するため、イル・クレモネーゼでは、構造面だけでなく異種素材を駆使した方法論も導入しています。その一つは、キャビネット最下部と、美しく加工されたガラス材を組み込んだ最上部に配した“ダンブシェル”。航空機用アルミ合金ブロックを機械加工し、陽極酸化処理を施したこのダンパーでキャビネットを上下から挟むことにより、キャビネット・パネルやドライバー・ユニットから伝わる構造的な振動や共振を押さえ込む考え方です。一方、床面からの振動伝播とキャビネット全体をデカップリングする手法としては、ソナス・ファベールによる近年の優れた研究成果の一つと言える“Z.V.T.=ゼロ・バイブレーション・トランスミッション”テクノロジーを採用。アイーダやリリウムでも振動要因の徹底排除に貢献したこの技術をイル・クレモネーゼ専用用最適化、同軸上にエラストマー材を金属で挟み込む構造としてスパイクに組み込む“サイレント・スパイク”を構成しています。ソナス・ファベールの新しい歩みを象徴するテクノロジーの一つである木材と金属の大胆な融合が、また一歩新たな段階に入ったと言えるでしょう。

正面のウーファー、サイド・パネルのスーパー・ウーファーは、これもソナス・ファベールの新しいソリューションである“ステルス・リフレックス”による非共振ベンテッド・ボックスに組み込まれています。特殊なダンピング材と精緻なポート・チューニングによって、従来のバス・リフレックス方式では免れないポート由来の歪み要素を排除、低域レスポンスを改善するこの技術は、強靱なキャビネット構造と相まって、弾力性に溢れた高精度な低域再生を実現する上でのキーポイント。イル・クレモネーゼでは、ミッドレンジ背面方向のダクトと、キャビネット底部方向に向かう2本の低域用ダクトが直交するよう配置されています。



●キャビネット最上部、精緻に機械加工された“ダンブシェル” ●後方サイド・パネルに配置された2基のスーパー・ウーファー ●スマートに洗練された“Z.V.T.”システムによる“サイレント・スパイク”が床面振動を排除

エンクロージャー透視図





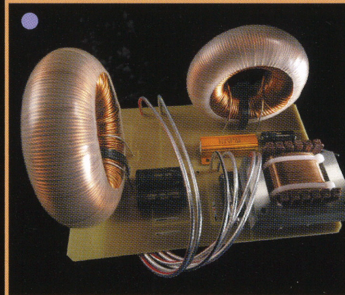
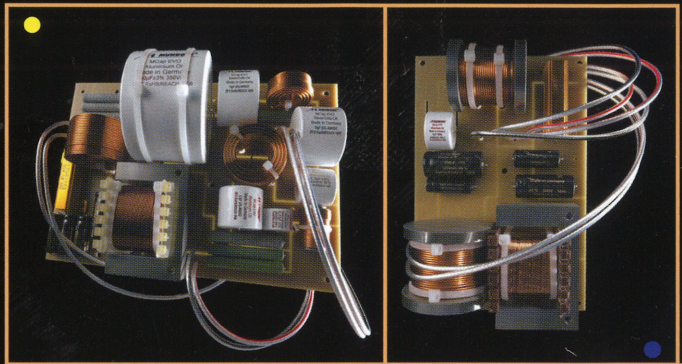
## 名作“リリウム”の流れを汲む 音楽性豊かなドライバー・ユニット群

イル・クレモネーゼのドライバー・ユニットは、いずれもパオロ・テツオンが設計・開発、リリウムに採用したモデルをもとに最適化を図っています。まずツイーターは、クラシックなドームとリング・ラジエーターの利点を融合した独自の“アロー・ポイントDAD（ダンプト・エイベックス・ドーム）”。28mm口径のムービング・コイル・ドライバーで、新設計ネオジウム・マグネット駆動システムによってダイナミックなリニアリティーを実現、ダイアフラム振動を最適制御する独自のメカニカル・インターフェース、共振を機械的に制御する天然木製ラビリンス・リア・チェンバーもそなえて、透明感に溢れた高域再現を可能にしています。ミッドレンジは180mm口径で、CCAW（銅被覆アルミ線材）採用により過電流を排除したボイスコイル、ケログ/ゲラー製リング採用磁界モーターによるパワフルなネオジウム・マグネット回路にドライブされ、緻密な音楽再生にとってきわめて重要な中域を高いリニアリティーとともに表現します。ダイアフラムには、カボック、ケナフなどの自然繊維を長時間自然乾燥させ、圧縮することなくブレンドし、高粘性の透明ダンピング材コーティングにより色づけ成分を徹底排除。キャビティー共振や歪みを抑える同軸アンチ・コンプレッサーも設けてナチュラルな再現性を獲得しています。このミッドレンジとツイーターは一体化した独立バッフルとし、フロント・バッフルからデカップリングされています。

## 低域レスポンスを大幅に拡大する 斬新なウーファー・ユニット配置

フロントの180mm口径ウーファーも、ダイアフラムには中域と同じセルロース・バルブ繊維を使用していますが、同時に強大な低域エネルギーを支える剛性を確保すべくシタクティック発泡材を挟むサンドウィッチ構造としました。剛性と軽量性を両立するこの設計により中・高音

●ツイーター H28 XTR-04の木製ラビリンス・リア・チェンバー ●ツイーター/ミッドレンジM18 XTR-04の独立バッフル ●ミッドレンジには同軸アンチレゾネーターを搭載 ●ウーファー W18 XTR-12 ●スーパー・ウーファー W22 XTR-16



●ツイーター/ミッドレンジ用クロスオーバー・ネットワーク ●ウーファー用クロスオーバー・ネットワーク ●スーパー・ウーファー用クロスオーバー・ネットワーク ●バイワイヤリング接続に対応するスピーカー端子

域との完全な音色のつながりを実現する一方、歯切れよく卓越した解像度を獲得。渦電流を制御した15インチ・ボイス・コイル、パワフルなロング・ストローク磁気回路が、高速でリニアリティーに優れたパフォーマンスを支えています。

さらに、その優れた低域再現性をさらに拡充するため、イル・クレモネーゼではウーファー同様のダイアフラム素材を採用した新設計220mm口径スーパー・ウーファーを後方サイド・パネル下部に2基配置、ウーファーとの位置関係を最適に調整した“スタガード低域放射テクノロジー”により、通常のウーファー・セッティングでは得られない低域の放射・拡散を実現しています。また、スピーカー設置時にスーパー・ウーファーの向きを選べるため、リスニングルーム環境やお好みに応じて低域の開放感やレスポンスを調整することができます。

イル・クレモネーゼでは、音楽性豊かな再現を目指して練り上げられたこれらドライバー・ユニットのパフォーマンスを最大化しつつ、各帯域をシームレスに結ぶため、クロスオーバー・ネットワークの設計には特に力を注いでいます。最新世代のドイツ・ムンドルフ社製“MCap EVO”シリーズ、シルバー/ゴールド/オイル・キャパシター、デンマーク・ジャンセン製コイルといったパーツ類の厳選はもちろんのこと、ダブル・スタガード伝送に基づくフィルター回路による周波数とリスニング・ルームの関係の最適化、卓越した空間/時間パフォーマンスを獲得するための振幅/位相関係の最適調整、そして様々なアンプとのマッチングを考慮した低域周波数帯域のインピーダンス最適制御など、現在のソナス・ファベールが達しうる最高水準の回路設計に徹しています。もちろん、粘性の高いビチューメン材にて各回路の共振を押さえ込むなど、デリケートな音楽信号の阻害要因を排除する配慮も忘れておりません。

ソナス・ファベールの伝統における最も優れた、最も重要な要素をさらに強化しつつ、ここ数年で開発された革新的技術を融合・調和させることに成功したイル・クレモネーゼ。ソナス・ファベールの進化は、なおも続いています。







## イタリアン・デザインの誇り

手づくりに徹するクラフトマンシップ、最新のテクノロジー、そして音楽的感性……。ソナス・ファベールが変わることなく大切にしてきた三つの価値です。弦楽器づくりをはじめとする木工技術や、馬具など皮革製品づくりの技といったイタリア伝統のものづくりをふまえながら、素材や音響に関する最新の知見を積極的に活用し、音の理想を究めていくのが、ソナス・ファベールの一貫した姿勢です。

このため、ソナス・ファベールのスピーカーは、昔も今も原則として北イタリア・ヴェネト州のヴィチエンツァにある本社工房にて開発・設計され、熟練職人によるハンドメイド体制のもと、一本一本丁寧に組み上げられています。

もちろんイル・クレモネーゼにおいても、木材のカットや加工・研磨、ニス掛け、メタル部品の設計・開発から成型に至るキャビネット製造工程のほとんどが職人の手作業で行なわれています。

一方、新しいドライバー・ユニットの設計・開発やクロスオーバー・ネットワークの調整といったエレクトロニクス関連、バスレフ・ポートのチューニングなどの工程はコンピューターにて綿密に進められます。もちろん無響室での入念な測定も繰り返されますが、最終的な音のクオリティとバランス決めるのはあくまで人間の聴覚。ソナス・ファベールが磨き上げてきた音楽的感性です。イタリアン・デザインの誇りこそが、イル・クレモネーゼの堂々たるパフォーマンスを支えています。

## Specifications

|              |                            |
|--------------|----------------------------|
| ● 形式         | 3.5ウェイ・6スピーカー、フロアスタンディング型  |
| ● 使用ユニット     |                            |
| <ツイーター>      | 28mm口径 ドーム型                |
| <ミッドレンジ>     | 180mm口径 コーン型               |
| <ウーファー>      | 180mm口径 コーン型×2             |
| <スーパー・ウーファー> | 220mm口径 コーン型×2             |
| ● クロスオーバー周波数 | 80Hz/250Hz/2.5kHz          |
| ● 周波数特性      | 25Hz~35kHz (ステルス・リフレックス含む) |
| ● 出力音圧レベル    | 92dB SPL (2.83V/m)         |
| ● 公称インピーダンス  | 4Ω                         |
| ● 推奨アンプ出力    | 100~800W (クリッピングなし)        |
| ● 最大入力電圧     | 30V rms (IEC268-5)         |
| ● スピーカー端子    | バイワイヤリング端子(HIGH / LOW)     |
| ● 外形寸法       | 幅399×高さ1450×奥行622 mm       |
| ● 重量         | 84kg / 本                   |
| ● キャビネット仕上げ  | Red、Walnut (グロス・フィニッシュ)    |





*Sonus faber*

IL CREMONESE

*Art. No. Stradivari*

Wengè



IL CREMONESE Wengè

仕様・価格等は既発売の IL CREMONESE Red 及び Walnut (グロス・フィニッシュ) モデルと同様です。仕様及び外観は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。